

研修参加報告

(会派 公明党)

<研修目的>

変化し、進化する議会広報について学ぶと同時に、今後の安来市の議会だより作成のためのスキルアップを図るため。

<研修概要一覧>

研修月日	研修施設	研修内容
2020年 1月30日 (月)	アクロス福岡 608会議室	地方議会総合研修所主催セミナー 講義1 議会広報の最前線 講義2 紙面づくりのスキルアップと広報紙 クリニック

<研修概要報告>

講義1. 議会広報最前線

- 講師：エディター・広報アナリスト 吉村 潔氏
- 概要：1、変化し、進化する議会広報
2、コンテンツ別のポイント
3、先進議会の事例研究

<考 察>

今回私は広報広聴委員会で議会だよりの担当になりました。

今まで、全く携わることがなかったので、基本的な事を学ぼうとの思いでセミナーの受講を決めました。講師のお話は永年広報紙に携わってこられた経験と、実績がありとても勉強になりました。

全国の市議会において、広報紙を発行しているところは99%。また、議会情報を何から得ているかとのアンケート調査によると、約66%の人が「議会だより」からとのこと。また、議会の情報ツールとして、会議録、WEB、広報紙があり、それぞれの持ち味を生かしながら情報を得ること、また広報紙の紙面づくりに当たっては編集コンセプトを考えないと単なる議会からのお知らせになってしまうと言われました。市民の皆さまに読んでいただける議会だよりをどのように作成していくのか、単なるお知らせではなく、議会の活動状況が伝わるものにしていかなければ発行している意味がないと思いました。更なる紙面の充実に努めていきたいと思えます。

講義 2. 紙面づくりのスキルアップと広報紙クリニック

- 講師：同上
- 概要：1、覚えておきたい基礎知識
2、議会広報誌クリニック

<考 察>

手に取りたくなる表紙デザイン等、紙面づくりの具体的な基礎知識について学びました。また、今回参加していた各自治体の議会だよりを一つずつチェックしながら具体的なアドバイスをいただきました。

安来市の議会だよりはかなり酷評でした。表紙のデザインは、市章が入っていて色の種類が多く、全体的にぼやけているように思う。委員長報告は文字の羅列で見にくい。写真を入れる等もう少し工夫した方がいい等、その他たくさんの意見をいただきました。

いただいたアドバイスは真摯に受け止め今後の作成に活かしていきたいと思いません。

特に心に残ったのは、他自治体で広報広聴に力を入れているところの事例についてです。直接議員が取材し、市民と対話をしたり、写真を撮ったりしながら、少しでも市民が議会に興味を持ち、お便りを手に取って読んでいただけるのかを常に考えておられ、次号が楽しみになるような特集記事や、学生などにも登場していただきその周りの人たちを巻き込むような紙面づくりをされていたり、とても興味深いものでした。安来市として、同じような事はできないかもしれませんが、議会だより、議会報告会共にもう少し改善すべき点があるように思います。

広報広聴の大切さを学んだ研修会でした。